

ぎかいの話題・トピックス

◆教職員の教育環境

多忙な環境が児童生徒の不登校の要因となることも考えられることから、教職員が授業準備や子供と向き合う時間が確保でき、子供が元気に登校できる楽しい学校となるよう、改善に努めてほしい。

◆スクールカウンセラー

不登校やいじめの抑制につながるものであり、相談時間が圧倒的に不足している現状を踏まえ、市独自の配置も含めて強化してほしい。

◆地域おこし協力隊

過去の事例を総括し、また他市の事例も参考にしながら積極的に活用してほしい。

◆職員の定員管理

業務量が増大しているにもかかわらず、職員を減らし続けたことで時間外勤務が常態化しており、職員の疲弊が著しいことから、職員の配置を増やすよう努めてほしい。

◆学校図書

良書に親しめる環境整備を継続してほしい。また、今後の環境整備に当たっては、タブレット端末を活用した電子書籍の導入などICT活用に関する調査研究を進めてほしい。

◆臼井町地区の水路やポンプ施設

令和2年7月豪雨を超える規模の豪雨も今後考えられることから、より高い排水能力を持つ設備を整備してほしい。

◆後期高齢者医療保険料

負担が重すぎるため、剰余金や運営安定化基金等を活用した負担軽減を福岡県後期高齢者医療広域連合に働きかけてほしい。また、広域連合への県負担金の増額を県に要望してほしい。

◆ごみの減量の推進

市民の協力だけではなく、市内各事業所の協力も得ながら、プラスチックごみの発生抑制や生ごみの堆肥化などを進めてほしい。

◆移住支援金

本市の人口減少に歯止めをかける政策として有効と思われることから、引き続き事業を推進してほしい。

議会研修会・全員協議会を開催しました

研修会で
業務継続計画（BCP）を学ぶ



1月18日に議会研修会を行いました。

議会研修会は、議員の監視能力及び政策形成能力の向上を目的として、毎年行っています。

コロナ禍で令和2、3年度は開催を見送りましたが、令和4年度は、古賀市議会から議会運営委員会委員長の奴間健司氏を講師に招き、「古賀市議会の議会改革の歩み～BCPをめぐる最近の取組～」をテーマに学びました。

業務継続計画（BCP）とは、大規模災害などの緊急事態が起きた場合でも、業務（行政サービス等）を継続するため、対応方針等を定めた計画のことで、古賀市議会は平成29年に業務継続計画を策定されています。

全員協議会で、アクション
プログラム（改訂案）を議論



2月8日に全員協議会を開きました。

全員協議会とは、市政全般に関わる政策等についての協議を行うため、開

かれる会議です。

①大牟田市第6次総合計画アクションプログラム（改訂案）について、②大牟田市排水対策基本計画についての説明を受け、議論を交わしました。

アクションプログラムに関しては、新規事業や拡充事業のほか、病児・病後児保育事業など既存の事業に関する質疑質問が行われました。

排水対策基本計画に関しては、「計画が実際に生かせるように、市民との情報共有を丁寧に進めてほしい」などの意見・要望がありました。